



ぶんと通信

第53号

2007年8月15日発行
 (財)伊賀市文化都市協会



三重酒18号



伊賀農業研究室

試験圃場

新しい酒米

伊賀の地で誕生

三重酒18号!これはお酒の名前ではありません。三重県で開発中のお米の開発コード。正式な名前が決まるまでの仮の名前です。日本酒の原料はお米。美味しいお酒は、酒米といわれる、特に酒造りに適した専用のお米を使って醸されます。三重県では、現在、県産の酒米の開発に取り組んでいて、その現場が伊賀の地にあります。

この三重酒18号の育種に取り組んでいるのは、三重県科学技術振興センターの伊賀農業研究室。伊賀市森寺に広がる田圃の傍ら、小高い山の中腹にあります。ここでは、稲、麦、大豆、ブドウの栽培研究、そして、水稲の原種種子の生産を行っています。この研究施設の歴史は大変古く、大正11年、当時の小田村に設立され、平成4年より現在の森寺に移転しました。

伊賀は、古くから良質米の産地として知られていますが、県内で生産される酒米のほとんどが栽培されていて、酒米の産地でもありません。中でも、酒米の王様と呼ばれ、その品質が最高位にランクされる山田錦が、完全契約栽培で生産され、20年前から、「三重山田錦」というブランドをつくり、その栽培と品質の向上に取り組んでいます。しかしながら、三重県独自の酒米がなく、オリジナルの酒米の開発は、酒造メーカーをはじめ、関係者の長年の夢でした。

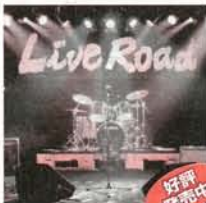
三重酒18号の開発は、平成8年に始まり、昨年、ようやく試験醸造にまで漕ぎ着きました。今年は9戸の生産者の手で栽培され、現在、順調に生育し、収穫後、県内の数社の酒造メーカーで、本格的に醸造が開始されます。そして、三重酒18号には、今年中に正式な名前が付けられる予定で、来春、このお米で醸されたお酒がお披露目になります。

伊賀で誕生したお米100%使用し、伊賀の地で醸されたお酒。生粋の伊賀酒が口にできる日も間近です。(広報事業委員 重藤憲史)

ぶんと通信

BUNTO チケット情報

Live Road 2007



好評発売中

8/26(日)

開場 14:00
 開演 14:30
 500円
 (オールスタンディング)
 当日800円
 ふるさと会館いが

ザベンチャーズ THE VENTURES Japan Tour 2007



好評発売中

9/7(金)

開場 18:30
 開演 19:00
 5,000円
 (全席指定)
 当日500円増
 伊賀市文化会館

優秀映画上演会

「大江戸五人男」 10:00~12:12
「赤穂浪士」 13:00~15:30
「鏡形平次捕物控 人形蜘蛛」 15:45~17:07
「旗本退屈男」 17:30~19:18

好評発売中

9/23(日)

開場 9:45
 500円
 (全席自由)
 あやま文化センター

新曲キャンペーン企画 伍代夏子演歌まつり



好評発売中

10/14(日)

①開場13:00 開演13:30
 ②開場16:30 開演17:00
 1階 4,500円(CDプレゼント)
 2階 2,500円
 当日500円増(全席指定)
 伊賀市文化会館

第12回ピアノデュオコンサート お子様と楽しめる ふたりのピアノコンサート Duetwolデュエット



好評発売中

11/4(日)

開場 13:30
 開演 14:00
 3歳以上 500円
 (全席自由)
 青山ホール

劇団四季ミュージカル 「エビータ」



好評発売中

12/11(火)

開場 18:00
 開演 18:30
 S席 8,400円
 A席 6,300円
 B席 4,200円
 (全席指定)
 伊賀市文化会館

●チケットのお問い合わせ●

伊賀市文化会館 青山ホール

TEL.0595(24)7015
 TEL.0595(52)1109

ふるさと会館いが あやま文化センター

TEL.0595(45)9125
 TEL.0595(43)1125

楽屋のペン

さだまさし

7月29日(日)伊賀市文化会館にて「さだまさしアコースティックコンサート」が開催されました。本番前にさださんにお話を伺いました。

Q:映画「精霊流し」は、ご自身で原作を書かれていますが、作られる作品(歌)の詞は、思い出や経験から作られるのですか?

A:長崎の人なら誰もが経験している光景で、僕は同い年のいとこが亡くなった時のショックが書くきっかけとなりました。詞は、書きたくして書いたものや、「雨やどり」のように絵を見てヒントを得て主人公が動き出し…と色々です。面白い経験はたくさんしているのです。

Q:「北の国から」は噂によれば、1時間ほどで作られたとか聞きましたか……

A:倉本先生の所で、30分程で書き上げました。歌詞がありませんが、あれだけの素晴らしい映像には言葉は負けますからねえ。最初は不安でしたがねえ〜。

Q:「北の国から」で、初めて自分の仕事に誇りを持たれたとか……

A:物語がどんどん膨らんで行くことによって、あの歌も膨らんでいき育ててくれたのでしょう。

Q:「案山子」は、世の母親は皆涙する曲だと思います。どんな思いで作られましたか?

A:26歳で書いた曲ですが、中学生から東京で一人暮らしをしているので、その時の母親の思いも入っているのでしょうね。あいまいな人間関係を描いた曲だけれど、時間がたつほど味が出てきたな〜と感じます。

Q:これからも透明感のある涼しい曲と、思い出に残る曲を作っていただきたいですが、ご自身での今後の方向性は?

A:今まで充分やってきたので、これからは力むことなく淡々と今思っていることを書いていきたいです。もし批判があっても気にせず……判ってくれる人のために書き歌い続けたいです。

さださんのトークは有名で、今回も楽しく笑いがいっぱいのおつと言った3時間でした。人情豊かな人柄が作り出す言葉の一つ一つが、心に残った真夏の夜のひと時でした。

(広報事業委員 松永啓子)

風呂矢早織ピアノリサイタルレポート

7月29日青山ホールでおこなわれた風呂矢早織ピアノリサイタルに行ってきました。風呂矢さんは伊賀市出身のピアニスト、名門バークリー音大で学ばれ現在は愛知県を拠点にしてジャズ、ゴスペル、クラシック、とジャンルにこだわらない演奏活動を行っています。3年前も伊賀でコンサートを行っていますが残念ながら都合でいけなく、ジャズの本場アメリカで修行された彼女の音を是非聞きたかったのですが、今回やっと念願がかないました。

コンサートはクラシックから始まりました。フランスの音楽家ドビュッシーは彼女のこだわりのひとつ、ソロ演奏でおなじみの「亜麻色の髪の乙女」やジャズのような「風変わりなラヴィーナ将軍」をこなし、いよいよジャズの部へ。

ピアノ、ベース、ドラムのトリオで構成されたバンドはバラ

ンスがよく、特に要であるベースのグレゴリー・トロは3年前にも伊賀に来て演奏してくれたバークリー時代の友人で、パワー、テクニックで彼女の演奏を支えてくれました。途中からサクソも入り華やかな雰囲気でもオリジナル曲やモダンジャズの「モーニン」、「アローン・トゥゲザー」等のおなじみのナンバーで楽しませてくれました。

クラシックの演奏は聴く機会がありますが、本格的なジャズは大阪や名古屋に行くしかなく、一緒に居合わせたお客さんも「伊賀で本格的なモダンジャズをライブで聴けるなんていい時代になった」としみじみ言われていたのが印象的でした。今後も伊賀で彼女のコンサートを聞く機会が増えることを願っています。

(広報事業委員 森 正美)

「七夕祭りin岩倉峡」

7月7日(土)岩倉峡公園にて、「七夕祭りin岩倉峡」が行われました。心配された天候も参加された皆さんの願いが通じたのかいつの間にか好転し、屋外事業としてはグッドコンディションとなりました。その盛りだくさんの内容を紹介します。

まず、80名の参加者が10の班に分かれます。友達同士子どもだけでの参加もありましたが1班当たりおのおの2〜3家族の構成、ほとんどの参加者は初対面と思われそうですが、早速夕食の準備です。

メニューは夏の暑さを吹っ飛ばすピリ辛・さっぱり「ジャージャー麺」と「フルーツケーキ」の2品です。2品とも、ぶんととの事業です。具材のみじん切り、ケーキの生地作り、食器の準備、みんなで協力し合い子ども達にも自然と役割分担が決まっています。各班とも手際よく作業を進めていき、予定の時刻にはほぼ完成。

食事が終わると笹飾り作りがはじまります。各自持参したはさみやのりを使ってユニークな飾りや願い事がいっぱい書かれた短冊ができていきます。

そのころスティールバンドPANPLE(パンプル)がリハーサルを始めました。当日は12名のメンバーが参加、20〜30代の女性中心のバンドです。スティールパンはそもそもカリブ海の島国でドラム缶を加工して作られた打楽器ですが、ドラム缶からは想像し難い実に美しい音色が奏でられます。

笹飾り作りと同時に進行でスティールパンの演奏体験が2班

ごとにすすめられました。課題曲は「たなばたさま」、



バンドのメンバーが熱心に指導、子ども達も初めて触れる楽器に興味津々、やが

て笹の葉さらさらのメロディーが次々と奏でられていきます。

笹飾りが完成し、会場に照明が入るといよいよコンサートの始まりです。みんながよく知っているアニメ曲からトリニダード・トバゴのカーニバルの曲までバラエティに富んだ楽曲が演奏され、リーダーからのメッセージ「夏のにぎわいフェスタ・ぶんとステージでまたお会いしましょう。」で終演。以上で事業は終了する予定でしたが何人かの子ども達がなかなか会場を離れません。「天使の琴」と呼ばれる音色がよほど気に入ったのか、かたづけを待つスティールパンで「たなばたさま」のメロディーを何度も繰り返し打ち続けていました。

ようやく静かになった会場には2本の笹飾りが残りました。

みんなの願いが天の川に届くことを願いつつ、七夕祭りの無事成功に感謝。

(広報事業委員会 菊野善久)



上啓筆 ふるさとへ

「盆暮れ彼岸は伊賀人」

森下 悦生



娘と尾瀬にて

新幹線が、東京名古屋間を二時間以内で結ぶようになってから、もう大分経った。近郊から都心に通勤している間に、東京から名古屋に着いてしまうので、驚きである。仙台についても同じで、費用が許せば通勤可能になっている。このような訳で、帰省する場合、距離の短い名古屋伊賀間に時間がかかるという、面白い状況である。週末夕刻に業務を終えてからでも、伊賀の家に十分たどり着ける。

今はもう空き家になってしまっているのに、門の鍵を開けたり、電気をつけたり、入り口の鍵の番号を思い出して、戸を開けるのに難渋したりで、闇夜では一仕事である。水道の元栓を開けるのに、汗だくになってしまうことも多い。夏季は草が背丈ほどになっており、つい涙が出てしまったりする。湯沸器が深夜電力利用なので、最初の晩は風呂無しであり、また留守宅につき埃っぽ

く、情けないことこの上ない。次の日は、家の中をあらかじめ掃除したり、庭一面の草との格闘を開始したりするのだ。大正元年築の戦前の中小地主の家屋にて、田舎でも広い方の家屋敷は、子孫に草取りの任務を課している。夏場の草むしりは、昼前にもなると熱中症状だ。数日がかかりで少しはましになれば、墓に参ってこれもまた少し掃除をすることになっている。

こんなふうにして、盆暮れ彼岸は伊賀の住人である。自分も中高年であるが、周りをもっと高齢で、五十代後半ではすごく若い方である。子供の頃と変わったのは、車社会になったこと。農村地帯であるが、圃場整備がなされ、リッパな農道ができ、車で墓参する妹の家族が近くに駐車できる。最近では、ここにも下水道整備の話が持ち上がっている。伊賀の家にもようやくウォシュレットが付けられるかもしれない。休んでいると、建てつけのよくない戸ががらがらと開く音をたてて、ああ父母が帰ってきたとつい思ってしまうことが何年も続いた。

月並みなことだが、伊賀の空気はやっぱりおいしい。私の原風景はいつまでもここにある。

■森下悦生(東京大学大学院 教授)

1949年 伊賀市沖に生まれる。

東京大学でも一番難しいとされる工学部航空学科の教授に40歳で就任。大学院教授らしくらぬ飄々とした人柄で、次のノーベル賞候補?と期待される。

夢ing

『伊賀線がくれた夢』

県立上野高等学校3年 森喜 駿

私は、上野高校鉄道同好会の会長をしています。上野高校入学と同時に、仲間を集め、同好会を結成しました。「今までにない部活動」をテーマに、私たちの理想の部活動を創り上げるため、日々努力してきました。活動は、大きく2つあります。一つは、活発な対外交流です。県外の高校、大学に呼びかけ、年2回程、伊賀で合同鉄道展を開催しています。もう一つは、伊賀線の存在活性化です。

経営難な伊賀線を少しでも元気づけようと、散策マップを作成したり、ギャラリー列車を運転させたりしてきました。

大学では、地域政策について学びたい、と考



えております。そして将来、まちづくりの専門家として、全国に点在する地域鉄道を守っていく活動をしていきたい、と思います。そして、こんな夢を与えてくれた伊賀線を、伊賀上野の観光資源の一つとして位置づけ、新たな伊賀上野観光スタイルを創造し、地域との相互活性化を図りたい、と考えています。

伊賀のええもん見つけた

主編

今年で3年目を迎える「竹灯りの宴」は、地域の
人たちと共に作り上げるイベントとして根付き始め、
山紫水明の地しまがはらの秋を告げる風物詩になり
つつあります。竹と紙で作られた灯りを林のなかに
ちりばめ、その一つ一つに想いを込めたメッセージ
が浮かび上がる様子はまるで光の海、心地よい調べ
のなかで時を忘れそうになります。

昨年から灯りに使うロウソクを廃食油に替え、そ
の製作過程で子供たちにも加わってもらい又、模擬
店の食器もリユース食器を使用するなど環境にやさ
しいイベントへと拡がりをみせています。コンサー



しまがはら「竹灯りの宴」

【日時】
9/23 (秋分の日)
17:00~21:00

【会場】
やぶっちゃんの湯 島ヶ原
TEL 0595-59-3939

【お問い合わせ】
TEL 0595-59-2376 (岩佐)

しまがはら「竹灯りの宴」



ト、灯りメッセージ、投句会、フォトコンテスト、
模擬店と盛りだくさんの内容に毎年訪れる人々が増
えています。

幻想的な 1500 の竹灯りの中でおこなわれる朗読
やコンサートを一度体験されてはいかがでしょうか。

(取材協力) 伊賀の里しまがはら実行委員会事務局 岩佐 絹枝氏
(広報事業委員 森 正美)

文化あれこれ春夏秋冬

お盆が来ると、仏様に供える野菜や果物の中に、必
ずと言っていいほど現れる「ぶどう」。食べ出したら
止められず、口も手も紫色に染まってしまうほど、美味
しいぶどう!! どんな作物もそうですが、ぶどうにか
ける作業とは何と大変なことか!! 口に入ったあと…
お礼肥から始まり、耕起、剪定、追肥、芽かき…etc。年
間通して病虫害退治。ほとんど毎月見守って、やっと
この8月に収穫。

近くのおじいちゃんが毎日軽トラックに乗り、ぶどう園
に行かれる訳がわかりました。

今回は巨峰、伊賀クイーンでおいしいぶどうジュ
ースを作りました。紫の上品な色と、自然の甘さ。そして
ジュースを取ったあと、果肉をこしてジャムを作り、パ
ンやヨーグルトに。おいしい～おいしい～と食べた後、
又お礼肥から始まって繰り返されます。

来年もいただけますように頑張ってくださいね。

(広報事業委員 松永啓子)

特集 伊賀の食文化「ぶどう」編



— レシピ —

材料

巨峰	: 1kg	} A
水	: 1ℓ	
砂糖	: 300g	
クエン酸	: 小さじ1	
砂糖	: 大さじ3	



調理

- ・ 鍋にAを入れ20分程度煮る。
- ・ ざるでこし液と実に分ける。液は冷ましてクエン酸を加える。
- ・ 実にはゴムベラでこし砂糖を加え5分程煮る。
- ・ 液は水で薄めてジュースに、実はジャムとしてできあがり!

こだわり人生乾杯

「今からパズルを！」

河野 一郎

木を素材にした玩具を制作して25年以上になるが、本格的にパズルを意識し始めたのはパズルの世界で有名なNob氏(日本人)を知ったことと、インターネットでパズルの世界の奥深さに遭遇したことに始まる。そのパズル制作の発表場所として町家のイベントに参加して2年。伊賀に住んで、観光地にも関わらず伊賀忍者をテーマにしたみやげ物が無いのは気になっていたが、ちょうどその両者を組み合わせる実験ができる場を提供していただいたとも思っている。ただ、地元のイベントを地

元の人は意外と知らないように思う。ぜひ一度、開催期間中にご来場いただいて、ゆったり時間が流れる雰囲気の町家でパズルを楽しんでもらいたい。

最後に、私が熱中しているパズルの世界に興味のある方は次のWebページへ。その中の IPP Puzzle Design Competition には私が町家のイベントに制作した作品の一部が、応募画像として掲載されている。
http://www.puzzleworld.org



(伊賀市平野樋ノ口在住)

「開眼」



多感
多情

No.13

北泉 優子

五月下旬、白内障の手術をした。両眼ともである。三十代位からの近視で、加齢につれて眼鏡の度も増し、風呂と寝る時以外は、眼鏡を手放せなかった。二度コンタクト・レンズを作ったが、のんびり鈍感型の性格とは異なり、目だけは神経質で、どう練習しても入らず、眼鏡を通してきた。老齢に入って、また視力が落ちてきたなど感じてはいたが、別に不自由はなしとそのままにしていた。ところが四月の初め、朝起きたら左目が真っ赤に充血していて、びっくり。苦痛はなかったが、眼科へすつとんでいった。診断の結果は、白内障、それも両眼であった。手術をすれば、近視も改善される可能性が高い。院長の言葉の途中で、わたしは叫んでいた。

「先生、手術いつしますか」当方の都合を優先してくれるとのこと、その日は帰宅した。

目の手術をするのか……。帰ってから恐怖がこみあげてきた。

万一失敗して失明したりしたらどうしよう。一人ぐらしだし、老齢だし、生きていけないかもしれないぞ。そんな不安がよぎった。が、誰彼に喋ると、私もした、僕の母もしたという人がほんとに沢山のて、皆、痛くもかゆくもなく、すぐく良く見えるようになったと、誰もがよいことづくめ。もっと早くすればよかったと勧めてくれた。わたしの不安も恐怖も少しずつ薄れた。

数日後、手術日を決めに眼科へ行った。折角だから、古稀の誕生日は近視の治った状態で迎えたかったのだ。万全の検査を終え、手術の日が来た。通院なので、この日と翌日の眼帯を取る日だけは、いつも世話になっているNさんに付き添いを頼んだ。点眼麻酔の手術はほんの十五分ほどで済んだ。誰もが口にしたように、痛くもかゆくもなく、つけている血圧計の収縮のほうに気がなるくらいだった。

そして、翌日、眼帯を取ってもらった。その時の感動を、わたしは、一生忘れないだろう。院長の顔、検査用具、机上のカルテ、それら全部が、まるで、ピタッとピンと合ったようにくつきりと見えたのだ。

これが世の中だったのだ。こんな

見て見ぬ振りをするという。が、わたしは見えぬのに見えた振りをしてきた。それは視力だけのことでない。心の目でも言おうか。心の目も、もっと視力を戻した目のように見えていたら、知らずに人を傷つけたり心くばりを怠っていたりは、たぶんしなかつただろう。今からでは遅いが、心の目も取り戻そう。そんな反省が去来した。

一週間後、もう一方の手術も成功し、まだ術後の目薬は欠かせないが、四十年間つき合った眼鏡とさよならをして、わずらわしさから開放された。ただ、近視矯正を重視してもらったので、老眼鏡が必要になったけれど……。

若い友人に、これから車の運転を習おうかしらと告げたら、年を考えると下さいと止められた。けれど、運転は諦めたが、ほかのことには、年を考えず、挑戦したいと思っている。開眼したわたしにとって、人生はこれからだもの、諦めてたまりますか！

(作家・市内在住)

参加者募集 コンテンポラリーダンス ワークショップ 参加無料

「コンテンポラリーダンスってなに?」という方でも、「これなら出来る」「これなら楽しい」と思えるそんなワークショップです。このワークショップで、楽しく身体を動かして、コンテンポラリーダンスのエッセンスを感じて、ダンス公演をさらに楽しんでみてください。

コンテンポラリーダンスとは

現代アートの一つとして1990年代に生まれ、『バレエ』や『ジャズダンス』のように決まった形や技がなく、演技者が感じたままを自分の身体を用いて表現する新しいダンスです。特定の技法がないため、誰でもいつからでも始められ、表現の自由度が高く、技術よりも個人のオリジナリティが重視されます。

	小中学生向けワークショップ	一般向けワークショップ
開催日時	10月1日(月) 19:00~20:30	10月3日(水) 19:00~21:00
募集人数	30名(先着順)	30名(先着順)
会場	青山ホール	阿山B&G海洋センター
講師	岩淵多喜子(Dance Theatre LUDENS主宰)	
応募条件	小・中学生	高校生以上
	ダンス経験不問。初心者大歓迎。	
応募期間	9月10日~9月30日	8月25日~10月2日
応募方法	ハガキ・FAXまたはE-mailに必要事項を記入して、下記までお送りください。 ①参加コース名 ②〒住所 ③氏名(ふりがな) ④TEL ⑤年齢	
応募先	〒519-1412 三重県伊賀市下柘植6243 ふるさと会館いが「コンテンポラリーダンス ワークショップ」係まで Tel 0595-45-9125 Fax 0595-45-9126 E-mail furukan@bunto.com	

コンテンポラリーダンス公演のご案内

日時 10月6日(土) 18:30開演
場所 あやま文化センター さんさんホール
上演作品 「Moment」「Be」
出演 岩淵多喜子、太田ゆかり、大塚啓一
料金 自由席 1,000円
お問合せ ふるさと会館いが 0595-45-9125



Photo:塚田洋一

Dance Theatre LUDENS
http://ludens.at.infoseek.co.jp/

市民夏のにぎわいフェスタ!
BUNTOステージ
祭
2007年 今年もやります!
8月18日(土)

暑い夏にピッタリのスティールパン演奏
パンフル PANPLE 12:30~13:00
16:10~16:40

ベンチャーズコピーバンド
ミドルズ 14:15~14:55
17:30~18:10
グループサウンズに影響され、平成6年に結成。その後、市内外のイベントで活躍。

ダーツでピンゴなど、楽しいゲームがいっぱい! 参加して景品をゲットしてネ!
15:30~16:00、16:45~17:15

ガリバーゲット
Gulliver Get 19:00~20:00
伊賀出身のヴォーカル・アヤヲ含む5人組ユニット。今年6月「紅い月~あの人に愛されますように~」でメジャーデビュー!
魅力溢れるアヤヲの歌声を是非お聴き下さい。



史跡旧崇廣堂特別イベント **秋の名月に誘われて...**
~津軽三味線と和太鼓のしらべ~
in崇廣堂

日本伝統楽器である三味線と和太鼓の繊細で力強い音色とリズムを、趣のある史跡旧崇廣堂でたくさんのスキの穂に囲まれたステージをお楽しみください。
秋の月夜に、重厚で迫力のある奥深いハーモニーをご堪能ください。

- 日時 9月23日(日) 開場 18:00 開演 18:30
- 会場 史跡旧崇廣堂 講堂
- 出演者 和楽器集団 あじあん
- 料金 一般: 300円
- 定員 150名程度



※人数に制限がございますので、お早めにお買い求めください

- チケット発売日 8月19日(日)
- チケット取扱所 史跡旧崇廣堂、伊賀市文化会館、ふるさと会館いが、青山ホール、あやま文化センター
- お問合せ (財)伊賀市文化都市協会 電話 0595-22-0511

※駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

特別講演会 **史跡旧崇廣堂特別企画 ~秋の文化講演会~**
■テーマ **近世伊賀人のまなざし**
...「伊賀旧考」の古代を読む...

■講師 龍谷大学文学部講師 朝日カルチャー芦屋特別講師 岡森 福彦氏

歴史情緒あふれる「史跡旧崇廣堂」におきまして、「近世伊賀人のまなざし~『伊賀旧考』の古代を読む~」をテーマに、秋の文化講演会(2回1講義)を開催いたします。
講師は、伊賀市出身で龍谷大学文学部講師、朝日カルチャー芦屋特別講師の岡森福彦先生をお招きし、近世の伊賀で活躍した学者「菊岡如幻」によって書かれた歴史書「伊賀旧考」の中から、古代の部分に注目し、古代の伊賀のすがた、そして近世の伊賀人がそれをどのように捉えようとしてきたかをご講義いただきます。
参加を希望される方は、電話にて申込受付中です。皆様のご参加をお待ちしています。

- 日時 9月1日(土)・9月8日(土) 2回1講義 午後1時30分から3時まで ※1回のみ参加可
- 会場 史跡旧崇廣堂 講堂
- 料金 参観料のみ(各回) 大人200円/高・大学生150円/小・中学生100円
- お申込・お問合せ (財)伊賀市文化都市協会 電話 0595-22-0511



施設活用事業

城之越遺跡編

古墳時代を描いてみよう!

～瓦彫刻に挑戦～

古墳時代に水の祭を行なったと言われる城之越遺跡で、瓦の形をした粘土に彫刻をして、自分だけの瓦の置物作りに親子で挑戦してみませんか。

- 日 時 10月8日(祝) 受付9:30～
10:00開始～15:00終了(予定)
- 場 所 城之越遺跡(伊賀市比土4724)
- 内 容 遺跡や学習館の展示品などをスケッチして、その絵を柔らかい瓦(粘土)に彫刻刀などを用いて刻み、数日間自然乾燥させた後焼いて仕上げます。完成品は、城之越遺跡学習館で11月3日(土)まで展示します。
- 講 師 上野生涯学習推進会議メンバー
- 募集人数 親子 32組
- 受付方法 9月10日(月)午前9時から電話で受付
- 参加費 1組500円
(入館料、材料及び傷害保険料含む)

■お問合せ・お申込み

(財)伊賀市文化都市協会
電話 0595-22-0511



施設活用事業

桂三若全国落語武者修行ツアー2007

～陽の訪れのように～in崇廣堂

2007年4月1日から「桂三若全国落語武者修行ツアー2007～陽の訪れのように～」と題し、落語をしながら単独バイクで、北から南へ全国縦断落語修行を行なっている桂三若さんを迎えて、落語会を開催します。

生の落語を聞いたことのある人は勿論まだ聞いたことのない人も楽しんで頂ける絶好の機会です。ぜひお越しください。



- 日 時 9月30日(日) 開場13:30/開演14:00
- 場 所 史跡旧崇廣堂 講堂(伊賀市上野丸之内78-1)
- 料 金 参観料のみ(全席自由) 大人200円/
高・大学生150円/小・中学生100円
※枚数に限りがありますので、お早めにお買い求めください。

■チケット取扱所

史跡旧崇廣堂・伊賀市文化会館・ふるさと会館いが
青山ホール・あやま文化センター

■発売日 8月18日(土)

- お問合せ先 (財)伊賀市文化都市協会
TEL 0595-22-0511

投稿記事・情報募集

皆さん「ぶんと通信」に参加しませんか?

(財)伊賀市文化都市協会では文化情報誌として「ぶんと通信」を隔月で発行していますが、今まで以上の情報をお知らせするため、読者の市民の皆様からの投稿・情報を募集します。どしどしお寄せ下さい。

～伊賀のええもん見つけた～(4頁掲載)

「こんな珍しい名所があるよ!」とか「この時期には〇〇が見事よ!」など…市内で知られていない、地域の人ぞ知る穴場をご紹介ください。

☆内 容 タイトル随意、文字600字、写真1～2点
(写真は内容と合ったもの)

☆投稿方法 郵送又はメールで下記までお送り下さい。
メールの場合、写真は添付画像(形式JPEG)でお願いします。

※採用は広報事業委員会で決定いたします。

～こだわり人生乾杯～(5頁掲載)

市内在住の方で、人生において様々な分野で深い志をお持ちの方をご紹介ください。

趣味・スポーツなどなど…。いろんな分野で、こだわりを持って活動あるいは生活されている方など…。大歓迎です。

☆推薦者の方は、郵便、FAX又はメールで、その方の住所・氏名・活動内容・連絡方法を明記し、下記までお送り下さい。検討のうえ広報委員が記事の依頼をさせていただきます。

※採用の方にはお礼を差し上げます。

情報提供先 〒518-0809 伊賀市西明寺3240-2
(財)伊賀市文化都市協会「ぶんと通信係」
e-mail: samazama@bunto.com

お問合せ (財)伊賀市文化都市協会 電話22-0511

施設活用事業

しのぶえ 篠笛の響きコンサート

～篠笛で奏でる日本のうた～

篠笛とは、篠竹で作った日本の伝統的な楽器で、お祭のお囃子や民謡、三味線などともに親しまれてきました。

今回は、その篠笛とシンセサイザーを使って、日本の四季折々の中から生まれた「日本のうた」を歴史情緒あふれ、庭園風景も素晴らしい史跡旧崇廣堂で、叙情感豊かなコンサートをお楽しみいただきます。



—プロフィール—

NHK「国宝への旅」などの音楽を担当したAzumaと「鬼太鼓座」出身の井上真実が結成したユニット。日本古来の伝統楽器(篠笛)と電子楽器(シンセサイザー)で編成し、和と洋を融合した表現の世界を構築する。

- 開催日時 10月27日(土) 開演19:00(開場18:30)
- 場 所 史跡旧崇廣堂 講堂
- 料 金 一般:500円(定員150名程度)
- 出 演 井上真実…作曲家、篠笛奏者
Azuma(あずま)…作曲家、シンセサイザー奏者
- チケット発売日 9月1日(土)
市内4ホール、史跡旧崇廣堂及び各プレイガイドで発売
- お問合せ先 (財)伊賀市文化都市協会
電話 0595-22-0511



ホール・ドーム **これから** 情報

青山ホール

伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
8/18(土) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109(青山ホール)
8/19(日) 12:30~	第13回 きらめきフェスティバル	無料	伊賀市更生保護女性の会青山支部 ☎52-1453(魚住)
8/26(日) 14:00~	青山ハーモニー 15周年 記念演奏会	一般1,000円 高校生以下700円	青山ハーモニー ☎52-1048(山本)
9/9(日) 14:00~	大阪音楽大学同窓会幸楽会三重支部 秋のコンサート ~日本の作曲家たちの世界~	1,000円	大阪音楽大学同窓会幸楽会三重支部 ☎52-0411(福嶋)
9/17(祝) 13:00~	阿保地区 敬老会	関係者	阿保地区福祉会 ☎52-2000(阿保地区市民センター)
10/7(日) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109(青山ホール)
10/14(日) 14:00~	伊賀コミュニティオーケストラ 第4回定期演奏会	一般1,000円 高校生以下500円	伊賀コミュニティオーケストラ ☎090-6072-2180(福嶋)

ゆめドームうえの

伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

日時	催し物	場所	主催・問い合わせ
8/19(日) 8:30~	伊賀市スポーツ少年団本部長杯 バレーボール交流大会	第1、第2	伊賀市教育委員会スポーツ振興室 ☎22-9680
9/2(日) 8:30~	伊賀市PTA連合会 ソフトドッジボール大会	第1、第2	伊賀市PTA連合 ☎23-7006(岡野)
9/15(土) 9:00~	上野ベテラン卓球大会	第1	伊賀市卓球協会 ☎21-5619(浜瀬)
9/23(日) 9:00~	第11回ココラセトータルジャパンカップ バレーボール大会三重県大会	第1、第2	三重県家庭婦人バレーボール連盟 ☎23-2333(竹内)
9/30(日) 9:00~	みえスポーツフェスティバル2007 インディアカ大会	第1	三重県インディアカ協会 ☎059-328-1672(平尾)
10/7(日) 10:30~	トラックフェスタ2007in伊賀	第2	三重県トラック協会 ☎21-8397(大垣)
10/7(日) 9:00~	第4回伊賀バドミントン選手権大会	第1	伊賀市バドミントンクラブ獅子丸 ☎23-3452(高田)
10/8(祝) 9:00~	伊賀総合バレーボール選手権大会 小学生の部	第1、第2	伊賀Jrバレーボール育成会 ☎21-5748(生中)
10/13(土) 9:00~	エクセディカップ卓球大会	第1	伊賀市卓球協会 ☎23-2767(森永)
10/14(日) 9:00~	みえスポーツフェスティバル ソフトバレーボール大会	第1、第2	三重県ソフトバレーボール連盟 ☎23-5865(竹腰)

~ 参加者募集 ~

高齢者向けの「転倒予防教室」、ダイエットにオススメ「ボクササイズ」開催！
【転倒予防教室】 (先着20名、4回講座2000円)
 開催日：①9/20(木) ②9/27(木) ③10/4(木) ④10/11(木)
 時間：14:00~15:00 場所：大山田B&G海洋センター
【ボクササイズ】 (各回先着20名、1回500円)
 開催日：①9/22(土) ②9/29(土) ③10/6(土) ④10/13(土)
 時間：19:30~20:30 場所：上野運動公園体育館
 ※9月1日(土) 午前9時より電話受付開始。
 詳細については電話でお問合わせ下さい。伊賀市文化都市協会 TEL 22-0511

編集部だより

市町村合併で、文化都市協会の事業は拡大した。伊賀市内の歴史や文化財の正しい認識と保護の“こころ”を高め、芸術・文化・社会教育・スポーツ活動の振興等、「ぶんと」の受け持ち幅は広い。ホール、資料館、遺跡、体育施設など合わせて40ヵ所近い施設を管理する。伊賀らしい芸術・文化の創造や人々が交流する町づくりのために、「ぶんと」の役割はいよいよ重要。ホール委員会や広報事業委員会が地道な後押し活動を続けて10年。今後、貴重な文化財と関係施設が有効に活用されるよう、知恵とパワーを発揮する新たな(文化委員会(仮称))の立ち上げが待ち遠しい。(広報事業委員 西岡時彦)

伊賀市文化会館

伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
8/23(木) 9:45~	教育講演会「これからの学校—子どもたちのすてきな笑顔を守るために—」	無料 (要整理券)	伊賀市教育研究会事務局 ☎23-7004
8/24(金) 17:30~	平和のつどい2007	無料	三重県教職員組合伊賀支部 ☎21-1707
8/25(土) 18:00~	Aqua Timez the "BiG BaNG" tour '07	完売	(財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
8/29(水) 14:00~ 18:30~	神野美伽コンサート	S席6,000円 A席5,000円 (A席は当日券のみ) (全席指定)	ダイサンネクスト ☎0538-23-8500
9/2(日) 14:00~	ワンコインロビーコンサート ボサノヴァコンサート(場所:ハワイ)	500円 (全席自由)	(財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
9/7(金) 19:00~	THE VENTURES Japan Tour 2007	前売5,000円 当日5,500円 (全席指定)	(財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
9/8(土) 9:45~ 10:30~	上野同和教育研究協議会 第22回研究大会 パネルディスカッション	無料	上野同和教育研究協議会 ☎26-7677
9/16(日) 13:30~	上野商業高校吹奏楽部 第43回定期演奏会	500円	三重県立上野商業高等学校 ☎21-1900(堀内)
9/24(日) 15:00~	秋川雅史コンサート'07 ~千の風になつて...~	完売	(財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
10/7(日) 13:30~	マンドリンアンサンブルセシリア 第16回定期演奏会	前売 700円 当日1,000円	マンドリンアンサンブルセシリア ☎090-4216-0940(北中)
10/14(日) 13:30~ 17:00~	新曲キャンペーン企画 伍代夏子演歌まつり	1F4,500円(CD付) 2F 2,500円 当日500円増 (全席指定)	(財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)

ふるさと会館いが

伊賀市下栴植6243番地 TEL.45-9125

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
8/26(日) 14:30~	Live Road 2007	小ホール	500円 (当日800円)	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125 (ふるさと会館いが)
9/8(土) 18:30~	Full・Come・Live vol.24	小ホール	無料 チャリティーに協力ください	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125 (ふるさと会館いが)
9/16(日) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	大ホール	参加費500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125 (ふるさと会館いが)

あやま文化センター

伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
9/16(日) 9:30~	よの歌謡祭	無料	予野カラオケ愛好会
9/23(日) 10:00~ 13:00~ 15:45~ 17:30~	優秀映画上映会 「大江戸五人男」他3本	500円 (本数にかかわらず 500円です)	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125 (ふるさと会館いが)
10/6(土) 18:30~	現代ダンス活性化事業 コンテンポラリーダンス公演	1000円 (全席自由)	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125 (ふるさと会館いが)

伊賀びと川柳

★伊賀や良しここにうまれてやがて百
 ビジターと心通わす忍若衣袋 鈴木 ひさ
 年かさね暑さひしひし伊賀盆地 森野みかん
 伊賀に住み一度は着たい忍若服 堀内 晶
 住所書くイガシ伊賀市と言いなから 藤井加代子
 伊賀弁で自治の会議がうまくいさ 中川喜代子
 忍んでも足跡残す伊賀の猫 井ノ上揮男

★印の方に好評発売中の「エッセイ集」辛口甘酒を
 プレゼントします。次号の締切は9月15日です。伊賀
 にちなんで川柳・氏名・住所・年齢・連絡先・必要なら
 掲載用の柳名をハガキ・FAX・Eメールで下記まで
 お願いします。

ぶんと通信